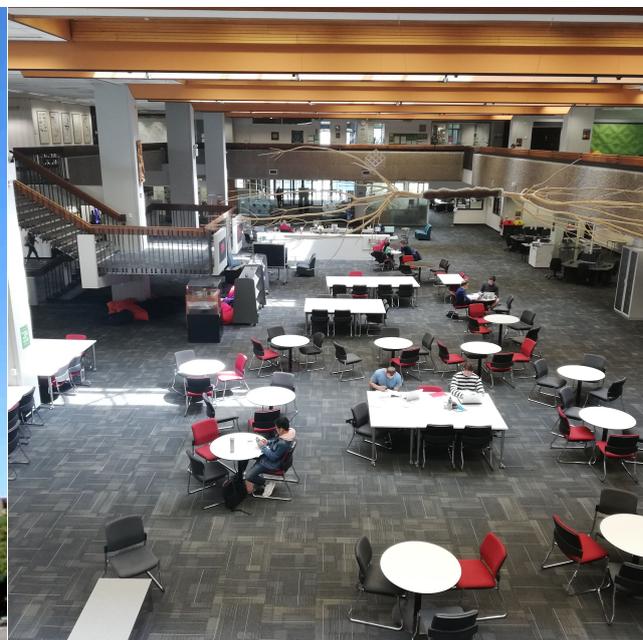




大学図書館



図書館オープンスペース

* 留学先

ニュージーランド クライスチャーチ
カンタベリー大学

* 渡航期間

-2019年7月4日から2019年11月22日

現地での授業期間

-2019年7月15日から2019年11月9日

* 留学準備

以前から留学したいと考えていたものの、行動が遅く機会を逃していました。進路を決めきれず留年したことで卒業が一年伸びたため、時間の余裕ができ留学を決断しました。2019年2月初旬に留学しようと思いたち、2月下旬にTOEFL iBT受験、3月上旬が書類提出締め切りでした。本当にギリギリのスケジュールで、TOEFLの受験も2回しかチャンスがなかったので、必要な点数がとれるように必死で勉強しました。カンタベリー大学の規定する留学要件でTOEFL iBTのリーディング、ライティング、リスニングがそれぞれ最低でも19点必要だったので、バランスよく勉強する必要がありました。4月には受け入れ決定の通知が来たので、5月中に学生ビザの申請や寮の申し込みをしました。

* カンタベリー大学を選んだ理由

英語の習得が第一の目的だったため、英語が公用語の国への留学を検討していました。また、卒論の都合で2020年3月の卒業までに余裕を持って帰国する必要があり、7月から11月にかけて講義が開講されるニュージーランドが最適でした。建築に関連する分野としてランドスケープデザインに興味があり、その講義があったのも魅力的でした。



大学の風景



大学グラウンド

* 授業

カンタベリー大学では、一般的に1 Semesterあたり3-5個の授業を履修します。私は、ランドスケープデザイン、アカデミックライティング、映画論を受講しました。これらの授業は、現地の学部学生向けに開講されており、ディスカッション、レポート、筆記試験が課されました。授業が始まったばかりの頃は英語での講義を理解するのに時間がかかり、録音して後から聞き直すなど現地の学生から遅れないように努力しました。ランドスケープデザインの授業では、樹木の生物学的な性質から選定方法までの概要を体系的に学ぶことができました。また、外部講師によるレクチャーやフィールドワークを通して、授業で学んだ知識と実際の現場でのランドスケープデザインのあり方を結びつけることができました。アカデミックライティングの授業では、参考文献の収集や学術論文の文章構成など、アカデミックライティングにおける基本的な技術を学びました。段落の接続や論理的な文章構成について、講師やTAの添削を受けることができ、英語による論文執筆の良い訓練でした。映画論の授業は、アカデミー作品賞の受賞作を通して、米国社会の状況や変化を読み解くという内容です。毎週、課題作品を鑑賞し、その作品についての論文を読んだ上でディスカッションする形式で、映画や論文の読解や他の学生とのディスカッションは語学力の向上の面で非常に有意義でした。また、アカデミックスキルセンターという、レポートの添削や学習上の不安を相談できる施設があり、文法の確認のために何度も利用しました。

* クライストチャーチについて

ニュージーランド第2の都市で、南島では最大の都市です。星空で有名なテカポなど南島の主要な観光地への玄関口ともなっており、多くの観光客が訪れる街でもあります。2011年の震災では大きな被害があり、中心市街地の再建が進んでいます。震災から8年がたちほとんど建物が立て替えられたものの、一部の建築物はフェンスで囲われた状態のものもあります。クライスチャーチはガーデンシティと呼ばれることもあり、公園だけでなく街路樹や住宅の軒先までもが豊かな植栽で覆われています。車社会ですが、公共バスのネットワークが充実しており大学から中心地まで15分ほどで着きます。UBERも利用可能です。

*物価

スーパーマーケットの食材やレストランでの食事は、東京の価格とそれほど変わりありません。バスも一回あたり200円程度でした。家賃以外の生活費は毎月3万円ほどでした。クライスチャーチは、日本からの移住者、留学生が多く、日本食材も安く手に入ります。

*生活

大学近くの留学生向けの学生寮に入居しました。カンタベリー大学からの受け入れ通知とともに、寮の案内が届きます。5人でキッチン、シャワーをシェアする形式でした。家賃は、1月あたり10万円ほどで、周辺でルームシェアをする場合の2倍程度の価格です。大学から近いこと、学生の交流イベントが開かれること、2週間に1回共用部の清掃が入る点はよかったです。やはり値段が高く、2セメスター目には引っ越ししてしまう留学生も多かったです。大学のトレーニング施設は無料で使え、ヨガや筋トレなど様々なエクササイズのリッスンがあり多くの学生が利用していました。学生によるサークル活動も盛んで、私はカヌーサークルに参加しました。大学/寮から1キロ圏内にはスーパーマーケットやレストラン、ショッピングモールがあり、買い物には不便しませんでした。

*所感

カンタベリー大学に留学ができて本当に良かったと思っています。留学前は、ある程度英語ができると考えていたのですが、海外で学んだり、働いたりするにはまだまだ不十分でした。今後も継続して英語を勉強していくモチベーションとなりました。また、他国からの留学生の一部は社会人経験を積んだ後に、専門性を高めたり、他の分野を学び直すために大学院留学に来ている場合があります。自由で多様なキャリアのあり方を目の当たりにし、私も将来的に海外の大学院へ留学し専門性を高めたいと考えるようになりました。一旦は就職し、社会人としての経験を積みますが、必要であれば海外の大学院への進学も視野に入れていきます。今回の留学での経験を踏まえ、今後のキャリアを考えていきたいです。